

# 平成 27 年度 第 1 回協議会資料 目次

## 平成 27 年度 事業報告

作品.....	1
(1) 展示	
(2) 貸出	
展覧会.....	2
(1) 特集展 川口起美雄 - 絵画の錬金術師	
(2) 企画展 京都市美術館名品展 美人画の 100 年	
教育普及.....	5
その他の事業.....	7
(1) 事業	
(2) 団体向け研修・体験プログラム	
(3) 実習および職場体験受け入れ	
(4) 定例会議	
施設利用者等の統計.....	10
(1) 展覧会	
(2) 貸出施設	
施設の管理.....	12
(1) 防災訓練	

## 平成 27 年度 下半期事業案

展覧会.....	13
(1) 企画展 ペコちゃん展	
(2) 特集展 生誕 100 年記念 写真家 濱谷浩展	
(3) 企画展 画家の詩、詩人の絵 絵は詩のごとく、詩は絵のごとく	
(4) 特集展 新収蔵品展 特集：石田徹也の世界—	
(5) ロビー展 前田哲明の彫刻	
(6) 特集展 知られざる名品 サラリーマンコレクター わの会展	
(7) 特集展 春の所蔵品展 - 物語る絵	
教育普及.....	20
その他の事業.....	22
(1) 事業	

# 平成 27 年度 事業報告

## 作品

### (1) 展示

当館展覧会において下表のとおり作品を展示しました。

NO	種別	展覧会名	総出品点数	うち所蔵・寄託	うち借用
1	特集展	川口起美雄 - 絵画の錬金術師	104 点	0 点	104 点
2	企画展	京都市美術館名品展 美人画の 100 年	62 点	0 点	62 点
計	-	-	166 点	0 点	166 点

### (2) 貸出

開催展覧会の内容や意義、開催場所の設備・環境、作品の状態や当館での利用予定などを考慮し、下表の通り作品を貸し出しました。

NO	貸出先	展覧会名・会期	点数	作家・作品名
1	京都市美術館	「日本の絵 執拗低音」4月7日～4月26日	2	三瀬夏之介「だから僕はこの一瞬を永遠のものにしてみせる」空虚五度(寄託作品)
2	兵庫県立美術館	「堀文子 一所不住・旅」4月18日～6月7日	1	堀文子「早苗の頃」
3	大分県立美術館	「モダン百花繚乱 大分世界美術館」4月24日～7月20日	1	内田あぐり「私の前にいる、目を閉じている」(寄託作品)
4	世田谷美術館	「速水御舟とその周辺」5月2日～7月5日	15	今村紫紅「水汲む女・牛飼う男」「入る日・出る月(小下絵)」、黒田古郷「鳩」、速水御舟(寄託作品)「夏草」「紅海」「ベスピオ火山」「アシジ遠望」「アシジにて」「アシジ聖フランチェスコ大修道院」「フォロ・ロマーノ近きバジリカにて」「イタリアにて」「コモ、ナッタ街にて」「コロポ港、雨」「香港落暉」「船上にて」
5	武蔵野美術大学美術館・図書館	「日本近代彫刻展」5月25日～8月16日	5	横田七郎「干物(めざし)」「静物(干物)」「静物(カタクチイワシ)」「静物(豆)」「静物(骸)」
計	-	-	24 点	-

# 展覧会

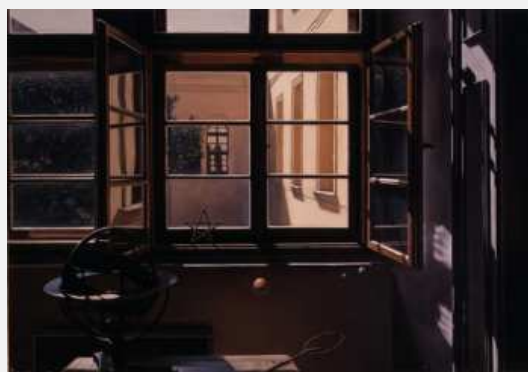
## 平成27年度 展覧会

### (1) 特集展 川口起美雄 - 絵画の錬金術師

種別	特集展
会期	4月18日(土)～6月14日(日)
主催	平塚市美術館
特別協力	彩鳳堂画廊
開館時間	9:30-17:00(入場は-16:30)
休館日	月曜日 *5月4日(月・祝)は開館
観覧料	一般200円、高大生100円
開催日数	51日
観覧者数	9,379人
担当	江口恒明(当館学芸員)



《つぎの日の朝の風景》1992年



《木星儀のある部屋》2010年

#### 内容

川口起美雄は、1951年長崎生まれ、現在、大磯町に在住し、武蔵野美術大学教授をつとめています。1974年から77年にかけてオーストリア国立応用美術大学に在籍、ヴォルフガング・フッターに師事し、北方ルネサンスの混合技法を学びました。帰国後、個展を中心に活動し、1985年文化庁在外研修員としてイタリアに留学、ウフィッツィ美術館にて研修。1987年、第30回安井賞展佳作賞を受賞。2002年には池田20世紀美術館で回顧展を開催しました。

川口作品の特徴は、古典技法と幻想的な画面にあります。その透き通った画面は、ブリューゲルやボッシュなど15世紀のオールドマスターに学んだ、テンペラと油彩の混合による古典技法の徹底した追究に裏打ちされています。また、調和の取れた構図には、宙に浮かぶ船や隕石、水面に見立てられた芝生などが描かれ、時間の流れや現実の空間を転倒させた幻視の風景が広がっています。

展示では、10cm×10cm程度の小品「ミニアチュール」を含め、川口作品の全貌を紹介しました。フッターらの影響を受けた幻想的表現と、日本ではめずらしい古典技法を自在に操った独自の具象表現をご覧ください。

#### 関連事業

##### アーティストトーク

日時：4月29日(水・祝)、5月30日(土) 各回 14:00～15:00

参加者数：4月29日 70人、5月30日 80人

場所：展示室 申込不要、要観覧券

ワークショップ「混合技法に挑戦！！」

日時：5月2日(土)10:00～16:30

講師：川口起美雄(本展作家)

参加者数：15人

場所：アトリエ 要申込

## (2) 企画展 京都市美術館名品展 美人画の100年

種別	企画展
会期	4月25日(土)～6月7日(日)
主催	平塚市美術館
特別協力	京都市美術館
協賛	神奈川中央交通株式会社
開館時間	9:30-17:00(入場は-16:30)
休館日	月曜日 *5月4日(月・祝)は開館
観覧料	一般800円、高大生500円
開催日数	39日
観覧者数	8,377人
担当	家田奈穂(当館学芸員)



菊池契月 散策 1934年



上村松園 晴日 1941年

### 内容

平塚市美術館では、京都市美術館の名品の中から、明治、大正、昭和にかけて描かれた女性像に着目して、京都画壇の日本画にみられる女性表現の変遷を概観する展覧会を開催しました。

女性像は、古代から現代まで描き続けられてきたテーマのひとつです。やまと絵や浮世絵の伝統を受け継ぎ、普遍的な女性の美しさを描き出すことが一般的であった女性像は、明治時代以降、美術の中心的なテーマとして大きく花開くとともに変動する社会の中で多様化していきます。

深い伝統に根ざした京都画壇でも、明治時代後半に顕著になる国家主義や家父長制度への反発、社会的弱者に対する共鳴や女性の自立を目指す動きなどを反映して、その生の姿が描き出されるようになるとともに、女性の内面をえぐるような表現がなされました。また、大正後半から昭和初期にかけては、時代を象徴するモダンガールがモチーフとして選ばれ、和洋渾然とした装いやモダンな調度品に囲まれた女性の豊かな生活が描写されています。一方、当時の日本の植民地政策を反映して異国情緒あふれる女性像も生み出されました。女性の描写は、とりもなおさず時代を表徴するものであったと言えるでしょう。

本展では、明治、大正、昭和にかけて、社会のめまぐるしい変化に鋭く反応する女性の姿を捉えて描き出した作品 62 点をご紹介します。

## 関連事業

講演会「美人画は3度消える」

日時：4月25日(土)14:00～15:30

講師：尾崎真人（京都市美術館学芸課長）

参加者数：61人

場所：ミュージアムホール 申込不要

## ギャラリートーク

5月9日(土)、5月23日(土) 各回 14:00～14:40

参加者数：5月9日 48人、5月23日 45人

場所：展示室 申込不要、要観覧券

## ワークショップ「ミニ屏風作り入門」

日時：5月16日(土)、5月23日(土)、5月30日(土) 3回連続講座 13:30～16:30

講師：長谷部雄三（表装文化伝承支援協会理事）

清水達也（表装文化伝承支援協会理事）

小林喜代美（表装文化伝承支援協会理事）

参加者数：18人

場所：アトリエ 要申込

# 教育普及

## 平成 27 年度上半期実施プログラム

12 プログラムを実施。400 人

担当：安部沙耶香(当館学芸員)、品川ちひろ(当館嘱託員)

No.	講座名	講師名	開催日	材料費	対象	参加人数
1	体験アートセラピー 親子でパステルアート ～笑顔のカードを作ろう～	福山恵美子(アートセラピスト)	4月4日(土)	200円	親子(小・中学生)	8組18名
2	木炭で描くデッサン教室	山中まんぼう(アーティスト)他2名	4月12日(日)	300円	小・中学生	19名
3	遊んでのびのび 赤ちゃんアート 春	富田めぐみ (赤ちゃんからのアートフレンド シップ協会代表理事)	4月16日(木)・ 5月14日(木)・ 6月4日(木)	500円	親子(1.0才 ～2.3才)	24組49名
4	川口起美雄展関連事業 混合技法に挑戦!!	川口起美雄(油彩画家)	5月2日(土)	1200円	中学生～一般	15名
5	バックヤードツアー	当館学芸員(勝山滋)	5月9日(土)	なし	小学生～一般	20名
6	表装文化伝統体験 「ミニ屏風作りに挑戦」	長谷部雄三、清水達也、小林喜代美 (表装文化伝承支援協会理事)	5月16日(土)・ 23日(土)・30日 (土)	2000円	高校生～一般	18名
7	東海大学協働事業 デッサン教室 所蔵彫刻作品を描いてみよう 一般の部	滝波重人、河野孝博(東海大学 教員)、東海大学院生3名	6月7日(日)	500円	18才～一般	13名
8	七夕関連ワークショップ カササギで想いをつなごう ～七夕ガーランド作り～	依田梓(美術家)	6月20日(土)・ 27日(土)	500円	小学生～一般	5名
9	遊んでのびのび 赤ちゃんアート 夏	富田めぐみ (赤ちゃんからのアートフレンド シップ協会代表理事)	7月2日(木)	500円	親子(1.0才 ～2.3才)	20組42名
10	体験アートセラピー 親子でパステルワーク ～お魚塗り絵で遊ぼう～	福山恵美子(アートセラピスト)	7月4日(土)	200円	親子(小・中学生)	10組20名
11	ミルクーを作ろう!!	不二家富士裾野工場の方々	7月18日(土)	なし	3才～一般	72名
12	作ってあそぼう わくわくランド	市立保育園保育士	7月25日(土)	なし	親子(1未就 学児)	109名

## スクールプログラム

6 プログラムを実施。161 人

担当：安部沙耶香(当館学芸員)、品川ちひろ(当館嘱託員)

No.	講座名	講師名	開催日	材料費	対象	参加人数
1	真鶴中学校美術部鑑賞ツアー	当館学芸員	4月29日(水)	なし	真鶴中学校美術部の生徒と引率教諭	20名
2	先生のための美術鑑賞広場 ～美人画の100年～	当館学芸員	6月6日(土)	なし	小・中・高・特別支援学校の教職員	4名
3	湯本・箱根の森・仙石原小学校 美術館ツアー	当館学芸員	6月18日(木)	なし	湯本・箱根の森・仙石原小学校の児童と引率教諭	62名
4	厚木市立相川小学校美術館ツアー	当館学芸員	7月9日(木)	なし	相川小学校の児童と引率教諭	29名
5	伊勢原中学校美術部鑑賞ツアー	当館学芸員	7月22日(水)	なし	伊勢原中学校美術部の生徒と引率教諭	29名
6	伊勢原市小学校教育研究会 図工科部会研修	当館学芸員	7月24日(金)	なし	伊勢原市小学校教育研究会図工科部会の教員	17名

## その他の事業

### (1) 事業

#### 第38回 平塚市展 6月28日(日)～7月12日(日)

主催	平塚市展委員会
協力	平塚市教育委員会・平塚書道協会・湘南美術工芸研究会・平塚美術家協会・平塚写真連盟
後援	平塚市・平塚市文化連盟・平塚商工会議所・SCN湘南ケーブルネットワーク(株)・FM湘南ナパサ・(公財)平塚市まちづくり財団
場所	展示室、市民アートギャラリー
日数	13日
入場者数	5,041人



実施風景



#### 七夕飾り 6月27日(土)～7月5日(日)

主催	平塚市美術館
内容	平塚の七夕祭りにあわせて、ワークショップ「カササギで想いをつなごう」で制作した七夕飾りを展示しました。ワークショップ講師、参加者の方々により飾りつけられ、来館者の目を楽しませていました。 展示指導 依田梓(ワークショップ講師、美術家)
場所	テーマホール
日数	8日
入場者数	自由観覧



実施風景





## (2) 団体向け研修・体験プログラム

No	種別	開催日	団体名	内容	人数
1	学習	5月10日(日)	リン版画工房	「川口起英雄展」見学とレクチャー	28人
2	学習	5月21日(木)	大神公民館	「川口起英雄展」「美人画の100年展」見学とレクチャー(公民館自主事業 美術鑑賞講座)	25人
3	研修	5月22日(金)	平塚MAC	「川口起英雄展」「美人画の100年展」見学とレクチャー	20人
4	学習	5月29日(金)	神田公民館	「川口起英雄展」「美人画の100年展」見学とレクチャー(公民館自主事業 美術鑑賞講座)	16人
5	学習	5月29日(金)	茅ヶ崎美波会	「川口起英雄展」「美人画の100年展」見学とレクチャー	29人
6	学習	5月31日(日)	美人画見学会	「川口起英雄展」「美人画の100年展」見学とレクチャー	14人
7	学習	6月4日(木)	藤沢三田会	「川口起英雄展」「美人画の100年展」見学とレクチャー	21人
8	学習	6月6日(土)	三田観世会	「川口起英雄展」「美人画の100年展」見学とレクチャー	18人
9	学習	7月12日(日)	ボーイスカウト平塚第3団カブ隊	「ベコちゃん展」見学とレクチャー	13人
10	学習	7月24日(金)	伊勢原市小学校教育研究会図工科部会	「ベコちゃん展」「濱谷浩展」見学とレクチャー	17人
計					201人

## (3) 実習および職場体験受け入れ

### 職場体験の受け入れ

市内の中学生、高校生等が現場で仕事を実際に体験することによって、社会性・勤労観やマナーを身につけ、将来の職業選択につながるよう、職場体験の受け入れを行っています。

No	実施日	参加者	人数	内容
1	7月14日(火)	大磯高校	24人	職場訪問(施設見学、質疑)
				参加者 計 24人

#### (4) 定例会議

##### 美術館協議会

委員(敬称略) 8人

水沢勉(学識経験者)、河野孝博(学識経験者)、鈴木靖(学校教育関係者)、栗木雄剛(学校教育関係者)、宮澤達寛(学校教育関係者)、加藤宏(社会教育関係者)、後藤真由美(社会教育関係者)、岩城孝子(家庭教育の向上に資する活動を行う者)

開催日/議題

第1回 平成27年8月5日(水)	平成27年度上半期事業報告及び下半期の事業計画について
第2回 平成28年3月開催予定	平成27年度下半期事業報告、平成28年度事業計画(案)について

##### 美術品選定評価委員会

開催日：平成28年1月に開催予定

委員(敬称略) 5人

酒井忠康(学識経験者)、橋秀文(学識経験者)、原田光(学識経験者)、鶴見香織(学識経験者)、猿渡紀代子(学識経験者)

# 施設利用者等の統計

平成 27 年 7 月 31 日現在

## (1) 展覧会

### 観覧者数 月別統計

月	開館日数	企画展	特集展	合計
4月	26日	844人	1,250人	2,094人
5月	28日	5,559人	5,601人	11,160人
6月	25日	1,974人	2,528人	4,502人
7月	27日	9,680人	5,756人	15,436人
8月				
9月				
10月				
11月				
12月				
1月				
2月				
3月				
計	106日	18,057人	15,135人	33,192人

### 学校観覧

		企画展			特集展		
		学校数	生徒数	教員数	学校数	生徒数	教員数
小学校	市内	0校	0人	0人	0校	0人	0人
	市外	0校	0人	0人	0校	0人	0人
中学校	市内	3校	10人	7人	1校	3人	3人
	市外	9校	123人	13人	9校	114人	12人
高等学校		2校	34人	2人	1校	10人	1人
計		14校	167人	22人	11校	127人	16人

## (2) 貸出施設

### 市民アートギャラリー 月別統計

月	利用日数	団体数	入場者数
4月	25日	4団体	2,964人
5月	24日	7団体	4,378人
6月	49日	6団体	6,263人
7月	31日	5団体	5,599人
8月			
9月			
10月			
11月			
12月			
1月			
2月			
3月			
計	129日	22団体	19,204人

### ミュージアムホール 月別統計

月	利用日数	団体数	入場者数
4月	5日	4団体	308人
5月	-	-	-
6月	5日	4団体	324人
7月	6日	6団体	457人
8月			
9月			
10月			
11月			
12月			
1月			
2月			
3月			
計	16日	14団体	1,089人

5月は、展覧会DVD上映のため利用団体はありません。

### アトリエ 月別統計

月	利用日数	団体数	入場者数
4月	1日	1団体	50人
5月	0日	0団体	0人
6月	1日	1団体	10人
7月	0日	0団体	0人
8月			
9月			
10月			
11月			
12月			
1月			
2月			
3月			
計	2日	2団体	60人

# 施設の管理

## (1) 防災訓練

実施日時

平成 27 年 7 月 29 日 (水) 9:00 ~ 9:30

内容

- ・全国瞬時警報システム(緊急地震速報)配信時の対応
- ・大地震発生時の対応
- ・火災発生時の対応(通報・初期消火・避難誘導)
- ・津波避難行動訓練
- ・水消火器での消火訓練
- ・展示準備室からの避難経路の確認

想定

全国瞬時警報システムによる緊急地震速報が配信され、その後大地震が発生する。地震の影響で、市民アートギャラリーA控室から火災が発生し、火災報知機が火災を感知する。

設備員が現場に急行し、火災発生を現認して事務所に報告する。初期消火活動を行うとともに、消防に通報し、来館者の避難誘導を行う。

## 展覧会

### (1) 企画展 ペコちゃん展

種別	企画展
会期	7月11日(土)～9月13日(日)
主催	平塚市美術館
開館時間	9:30-17:00(入場は-16:30) 7月18日(土)～8月30日(日)は開館時間を1時間延長。
休館日	月曜日 *7月20日(月・祝)は開館、翌火曜休館
観覧料	一般800円、高大生500円
開催日数	56日
観覧者数	開催中
担当	勝山滋 (当館学芸員)



ペコちゃん人形 1959年頃



渡部満 不在の時間 ペコのいる風景 2009年

#### 内容

株式会社不二家のキャラクター「ペコちゃん」は誕生から 65 年となる日本企業の代表的キャラクターです。まさに昭和から平成へつづく世相や日本の生活を表し、その容貌やファッションは時代や季節を通じて多彩に変化してきました。

店頭人形、卓上人形だけでなく、書籍やマッチラベル、テレホンカードなど生活に根差したところにペコちゃんがありました。世代によっては、ある特別な日にデパートの屋上遊園地などでひとしきり遊んだあと、家族で食べたハンバーグやショートケーキの思い出が浮かんでくるかもしれません。また現在まで、やなせたかし、水森亜土などの作家やポパイ、ハローキティなどのキャラクターとのコラボレーションが積極的に行われていることも日本的な特徴といえ、さらに企業としての不二家は、その社風もあり、アントニン・レーモンドやレイモンド・ローウィといった先駆的なデザイナーと積極的な関わりをもっていました。

本展はこうした「ペコちゃん」を、昭和という時代や世相のなかで捉えた「過去」(「ペコちゃんと昭和」、「生活のなかのペコちゃん」と)、気鋭の現代アーティスト 17 人がペコちゃんにインスパイアされて制作した 27 点による「現在」によってひもときます。

現代作家の内訳は、戌井昭人、伊藤誠、内田望、金川博史、川井徳寛、木原千春、小林孝亘、佐々木成美、玉川みほの、富岡奈津江、西尾康之、町田久美、三沢厚彦、宮川慶子、山田啓貴、吉野英理香、渡部満の 17 名です。

このほかミルキー関連のパッケージのコーナー展示、二人のデザイナー、レイモンド・ローウィとアントニン・レーモンドの紹介、東京モード学園の協力による、ペコちゃんのオリジナル衣装デザインの募集と展示を行います。

あわせて映像資料やワークショップなどによって、昭和という世相を追い、アートなペコちゃんの新たな側面を追いながら、幅広い世代が楽しめる展覧会を行います。

## 関連事業

### ギャラリートーク

日時：7月12日(日)、8月23日(日)、9月12日(土) 各回14:00~15:00

場所：展示室 申込不要、要観覧券

### ワークショップ「ミルクキーを作ろう！」

日時：7月18日(土)、8月1日(土)、8月15日(土) 11:00~、13:30~、15:30~ (各回30分前に整理券配布)

対象：小学生など

講師：不二家富士裾野工場の方々

場所：アトリエ

### ワークショップ「ペコちゃんとダンスしよう！」

日時：7月26日(日)、8月29日(土) 11:30~、13:30~

場所：ミュージアムホール 先着100名

### 「ペコちゃんカーがやってくる！」

内容：美術館前庭にペコちゃんカーが登場します。

実施期間：7月11日(土)~9月13日(日)

### 「みんなでスタンプラリー」

内容：館内にあるペコちゃんスタンプを3つ集めると、ミルクキーと引き換えられます。

実施期間：7月11日(土)~9月13日(日) 先着5,000名

### ペコちゃん人形衣装デザイン画コンテスト 子ども審査員賞

内容：中学生以下を対象に、展示中の東京モード学園の学生によるデザイン画のなかから気に入った作品を選んでいただき、1~3位になった作品の作者に子ども審査員賞を贈呈します。

投票期間：7月11日(土)~8月9日(日)

### ペコちゃんぬりえコーナー

内容：3種類のペコちゃんぬりえを楽しめます。

実施期間：7月11日(土)~9月13日(日)

### ペコちゃん一日館長

内容：文化ゾーンの3館コラボ事業の一環として株式会社不二家のキャラクター、ペコちゃんが3館の一日館長として3館を回り、来場者に館内を案内します。

実施期間：7月23日(木)

## (2) 特集展 生誕100年記念 写真家 濱谷浩展

種別	特集展
会期	7月18日(土)～9月6日(日)
主催	平塚市美術館
特別協力	濱谷浩写真資料館
開館時間	9:30-17:00(入場は-16:30) 7月18日(土)～8月30日(日)は開館時間を1時間延長。
休館日	月曜日 *7月20日(月・祝)は開館、翌火曜休館
観覧料	一般200円、高大生100円
開催日数	44日
観覧者数	開催中
担当	家田奈穂(当館学芸員)



エヴェレスト山,ネパール,地の貌 1974年  
濱谷浩写真資料館蔵



ホンヤラ洞にゆく子供たち 1956年、当館蔵

### 内容

濱谷浩(はまやひろし:1915-1999)は、東京下谷に生まれ、15歳のときに父の友人からカメラを贈られたことをきっかけに写真に情熱を傾けるようになります。18歳で銀座のオリエンタル写真工業に勤め、22歳でフリーランスのカメラマンとなった濱谷は、1939(昭和14)年に取材で新潟県の高田市を訪れ、その土地の風土や風俗に感銘を受けます。華やかな都会風俗に慣れ親しんだ濱谷にとって、雪国の厳しい風土とそれに立ち向かう人々の営為は、その後の表現を決定づけるものとなります。翌年には高田の小村落「桑取谷(くわとりだに)」の正月行事を取材してフィルムに写し取り、以降、戦中戦後を通じて10年ほど通い、その民俗を記録しました。初期の代表作『雪国』は、日本の風土と人間の関係を突き詰めたことで生まれたのです。

その後、高度成長期を迎えた日本において報道の機動性、速報性、同時性などの面でテレビの影響が増していくと、濱谷は写真表現の可能性を模索、1970年代に入ると世界を巡り、エヴェレストなどの大自然をテーマとするようになり『地の貌』などの作品が生まれます。

人間の生を深く洞察し、大自然の極限の様相に迫るカメラワークは、国内外で高く評価され、1987(昭和62)年、写真界のノーベル賞といわれるハッセルブラッド基金の「国際写真賞」を受賞しました。大きく変動する昭和という時代に生き、カメラを通して「人間が生きては何か」ということを真摯に問いかけた濱谷の生誕100年を記念して作品130点により、その軌跡をご紹介します。

### 関連事業

ギャラリートーク

日時:8月1日(土) 14:00～15:00

講師:多田亞生(編集者)、当館学芸員

場所:展示室 申込不要、要観覧券



### (3) 企画展 画家の詩、詩人の絵 絵は詩のごとく、詩は絵のごとく

種別	企画展
会期	9月19日(土)～11月8日(日)
主催	平塚市美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会
協力	県立神奈川近代文学館、公益財団法人神奈川文学振興会
協賛	ライオン、清水建設、大日本印刷、損保ジャパン日本興亜、日本テレビ放送網、神奈川中央交通株式会社
開館時間	9:30～17:00(入場は～16:30)
休館日	月曜日、10月13日(火) 9月21日、10月12日は開館
観覧料	一般800円、高大生500円
開催日数	45日
担当	土方明司(当館館長代理)、安部沙耶香(当館学芸員)



宮沢賢治 《日輪と山》制作年不詳、林風舎蔵



長谷川潁二郎《窓とかまきり》1930年、個人蔵

#### 内容

古来、西洋では「絵は黙せる詩、詩は語る絵」といわれてきました。日本でも画賛、詞書が<sup>がきん</sup>絵画の重要な役割を果たし、「詩書画」の一致を成してきました。一方、日本の近代洋画は、文学からの自立を目指した西洋近代美術の影響のもとで始まっています。特に印象派以後、新しい造形表現を積極的に取り入れた結果、実に多様な作品がうまれました。しかし、現実の生きた情感から浮き上がった作品が多く生まれたことも事実です。こうした中で、村山槐多、長谷川利行、古賀春江、三岸好太郎、山口薫などは、西洋近代美術に学びながらも、文学性、詩情を拠りどころとして優れた作品を残しています。さらにまた、詩の世界では宮沢賢治、立原道造、草野心平らが独自性のある絵を描いています。ある意味では、モダニズムが斥けてきた詩情、文学性を活かすことで、日本独自の絵画が成立したといえます。

近年では、一部の画家たちが積極的に詩の世界に接近し、新しい表現を生み出そうとしています。本展は、明治から現代までの画家と詩人の絵画と詩を一堂にあつめ、絵画と詩の密接なつながりを検証するものです。

## (4) 特集展 新収蔵品展 特集：石田徹也の世界

種別	特集展
会期	9月26日(土)～11月29日(日)
主催	平塚市美術館
開館時間	9:30～17:00(入場は～16:30)
休館日	月曜日 *10月12日、11月23日(月・祝)は開館、翌火曜日休館
観覧料	一般200円、高大生100円
開催日数	56日
担当	江口恒明(当館学芸員)



石田徹也 大車輪 1995年、当館寄託



佐々木豊 悪い夢 1974年、当館蔵

### 内容

2014年度に寄贈・寄託をうけ当館コレクションに加わった55点のうち、約40点を紹介いたします。

昨年度も、当館で開催した展覧会をきっかけとして多くの作品が収蔵されました。戦後の日本画を牽引してきた松尾敏男は、花鳥画を得意とし現在も日本美術院展で活躍し続けています。また、和紙の断片をコラージュ風に継ぎ足して巨大な画面をつくる三瀬夏之介は、昨今とくに注目される若手日本画家です。現代社会や自己の内面との葛藤を克明に描き出すアクリル画で頭角をあらわしながら早世した石田徹也の作品や、鉄の彫刻でノスタルジックな風景をつくり出す小田薫の作品は、若い世代の人々から広く共感を生んでいます。

このほか日本画では、戦前から古典研究と写生にもとづいた風景画を描いた中村岳陵や、黒田古郷、山本直彰などがあります。油彩では、セザンヌに深く傾倒し穏やかな詩情をたたえた風景を描く入江観、緑とピンクを基調色として独特のマチエールで女性像を描く佐々木豊、このほか高良眞木、積山恭平、中川久、平野杏子があります。また、野見山暁治が素早いタッチで日常の生活をとりえた水彩画、工芸の分野では、染織から出発し、真鍮などの素材を用いた立体造形に至った林辺正子の作品も紹介します。

本展ではとくに、13点の寄託をいただいた石田徹也作品について、特集コーナーを設けて全点展示いたします。近・現代日本の美術を彩るさまざまな表現をお楽しみください。

### 関連事業

学芸員によるギャラリートーク

日時：10月11日(日)、11月14日(土) 各回14:00～14:40

場所：展示室 申込不要、要観覧券

## (5) ロビー展 前田哲明の彫刻

種別	特集展
会期	12月5日(土)～平成28年4月10日(日)
主催	平塚市美術館
開館時間	9:30-17:00
休館日	月曜日、12月29日(月)～1月3日(土) *1月11日(月・祝)開館、翌火曜日休館
観覧料	-
開催日数	122日
担当	勝山滋(当館学芸員)

### 内容

平塚市美術館のテーマホールを用いた「ロビー展」は2006年12月にはじまり、今回9回目となります。外光の降り注ぐ高さ11メートルの空間を有効に使い、冬季実質100日以上のお会期となる観覧無料の展示となります。

前田哲明(まえだのりあき)は、1961年東京生まれ。1986年に東京藝術大学彫刻科を卒業ののち、1991年同大学院博士課程彫刻専攻を修了。現代日本美術展や個展を中心に作品を発表し、1997年文化庁芸術家在外研修員として渡英。ロンドンやトリノ(イタリア)での個展開催をへて、現在東京に在住。内外に設置された野外彫刻では、その場所のもつ象徴性やニュアンスに想いをよせ自身に立ち返りながら制作されており、第13回本郷新賞(2007年)を受賞するなど高く評価されています。湘南の光あふれるテーマホールの大空間に触発され、展開する前田哲明の世界をご堪能ください。

## (6) 特集展 知られざる名品 サラリーマンコレクター わの会展

種別	特集展
会期	12月5日(土)～平成28年2月7日(日)
主催	平塚市美術館
開館時間	9:30～17:00(入場は～16:30)
休館日	月曜日、12月29日(月)～1月3日(土) *1月11日(月・祝)開館、翌火曜日休館
観覧料	一般200円、高大生100円
開催日数	50日
担当	安部沙耶香(当館学芸員)



菅野圭介《哲学の橋(ハイデルベルク)》1953年  
梅野コレクション



桂ゆき《みみずく》1947-48年

### 内容

熱心な美術品コレクターの集まりであるわの会の公立美術館で初めてとなる展覧会です。コレクターが密かに所蔵し楽しんできた作品を、コレクターの思いを込めたコメントとともに公開いたします。どうぞ、市民コレクターの思いの詰まった珠玉のコレクションをお楽しみ下さい。

## (7) 特集展 春の所蔵品展 - 物語る絵

種別	特集展
会期	2月13日(土)～4月10日(日)
主催	平塚市美術館
開館時間	9:30～17:00(入場は～16:30)
休館日	月曜日 *3月21日(月・祝)開館、翌火曜日休館
観覧料	一般200円、高大生100円
開催日数	50日
担当	家田奈穂(当館学芸員)



安田鞠彦《日食》1925年 当館蔵



河野通勢《桃源郷に遊ぶ人々》1941-42年頃 当館寄託

### 内容

春の所蔵品展では、物語と密接なかわりをもつ作品約50点をご紹介します。

日本美術の特色のひとつとして文学性の強さを指摘することができます。絵画と文学との深いかわりから生まれる表現の豊かさは、日本美術の重要な要素として受け継がれてきました。物語や和歌、歴史など文字によって著された世界は、「形」を得ることで新たな語りの方法を獲得し、「形」は物語を活性化させてそのイメージを広く普及しながら創作の幅を広げていったといえるでしょう。互いに補い刺激し合いながら展開してきた形と言葉、すなわち絵画と文学が織りなす豊かな関係は、両者のみで完結するものではありません。作品を前にした私たち鑑賞者が、想像力をたくましくしてその重層的な表現の中に分け入り、読み取ることによって、はじめてその世界が鮮やかに浮かびあがります。

当館では、2015年秋に企画展「画家の詩、詩人の絵」を開催し、絵画と詩の親密なかわりにおいて創作された作品を紹介しました。それに引き続き、本展では絵画と文学との連関から生まれた所蔵品を紹介します。絵が内包する豊かな世界を感じ取っていただければ幸いです。

# 教育普及

## 平成 27 年度下半期 実施プログラム

22 プログラムを実施予定。

担当：安部沙耶香(当館学芸員)、品川ちひろ(当館嘱託員)

No.	プログラム名	講師	開催日	対象
1	ミルクキーを作ろう!!	不二家富士裾野工場の方々	8月1日(土)	3才~一般
2	中学・高校生ボランティアによる 缶バッジ・プラバン作りワークショップ	当館学芸員、中学・高校生ボラン ティアスタッフ	8月7日(金)・8日(土)・ 9日(土)	3才~一般
3	ミルクキーを作ろう!!	不二家富士裾野工場の方々	8月15日(土)	3才~一般
4	作ってあそぼう わくわくランド	市立保育園保育士	8月22日(土)	0才~6才
5	対話型鑑賞体験会	三ツ木紀英(NPO 法人 ARDA)	9月25日(金)	一般
6	キッズアート(連続講座)	富田めぐみ(赤ちゃんからのア ートフレンドシップ協会代表理事)	10月1日(木)・11月5 日(木)・12月3日(木)	親子(2.6~4.0才)
7	対話型鑑賞体験会	三ツ木紀英(NPO 法人 ARDA)	10月2日(金)	一般
8	「未就学児鑑賞ツアー」 ~新収蔵品展鑑賞~	富田めぐみ(赤ちゃんからのア ートフレンドシップ協会代表理事)	10月3日(土)	親子(未就学児)
9	0才からの鑑賞ツアー	富田めぐみ(赤ちゃんからのア ートフレンドシップ協会代表理事)	10月15日(木)	親子(0~2.0才)
10	体験アートセラピー ~マンダラ塗り絵~	福山恵美子(アートセラピスト)	10月17日(土)	中学生~一般
11	孫の日鑑賞ツアー	富田めぐみ(赤ちゃんからのア ートフレンドシップ協会代表理事)	10月18日(日)	祖父母と孫(未就学児)
12	彫刻デッサン教室~中・高校生編~	吉村維元、仙谷朋子(東海大学芸 術学科教員)	10月25日(日)	中・高校生
13	バックヤードツアー	当館学芸員	11月8日(日)	小学生~一般
14	子どもの油絵教室	山中まなぼう(アーティスト)	11月22日(日)	小・中学生
15	みんなの光るどろだんご 午前・午後	岩月真由子(土の美術家)	11月28日(土)	小・中学生
16	銅版画でつくるクリスマスカード (エッチング)	城戸宏(版画工房主宰)	12月6日(日)	高校生~一般
17	赤ちゃんアート 冬コース(連続講座)	富田めぐみ(赤ちゃんからのア ートフレンドシップ協会代表理事)	1月7日(木)・2月4日 (木)・3月3日(木)	未就学児
18	はじめてのリトグラフ	城戸宏(版画工房主宰)	1月中	高校生~一般
19	陶芸体験(連続講座)	尾形隆昭(陶芸家)	2月中	小学生~一般
20	0才からの鑑賞ツアー	富田めぐみ(赤ちゃんからのア ートフレンドシップ協会代表理事)	2月27日(土)	親子(0~2.0才)
21	動物を作ろう!!(連続講座)	三沢厚彦(彫刻家)	3月中	高校生~一般
22	「キッズ鑑賞ツアー」~春展鑑賞~	富田めぐみ(赤ちゃんからのア ートフレンドシップ協会代表理事)	3月17日(木)	親子(未就学児)

## スクールプログラム

13プログラムを実施予定。その他、依頼があれば随時実施。

担当：安部沙耶香(当館学芸員)、品川ちひろ(当館嘱託員)

No.	プログラム名	講師	開催日	対象
1	先生のための美術鑑賞広場	当館学芸員	8月4日(火)	小・中・高特別支援学校の教職員
2	平塚市小学校教育研究会 図工部会研修	当館学芸員	8月5日(水)	平塚市小学校教育研究会図工部会の教員
3	採用5年目研修	当館学芸員	8月7日(金)、8日(土)、 9日(日)	金田小学校教員
4	平塚市立学校事務職員研究会研修	当館学芸員	8月12日(水)	平塚市立学校事務職員研究会の教員
5	小田原市小学校教育研究会図工部 研修	当館学芸員	8月18日(火)	小田原市小学校教育研究会図工部の教員
6	墨田区立小学校教育研究会 図画工作部研修	当館学芸員	8月26日(水)	墨田区立小学校教育研究会図画工作部の教員
7	平塚市立城島小学校美術館ツアー	当館学芸員	9月3日(木)	城島小学校の児童と引率教諭
8	みずほ小学校鑑賞ツアー	当館学芸員	9月4日(金)	みずほ小学校児童と引率教諭
9	夕陽ヶ丘保育園鑑賞ツアー	富田めぐみ(赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会代表理事)	10月6日(火)	保育園児
10	しらすぎ保育園鑑賞ツアー	富田めぐみ(赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会代表理事)	10月16日(金)	保育園児
11	金田保育園鑑賞ツアー	富田めぐみ(赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会代表理事)	10月30日(金)	保育園児
12	神田保育園鑑賞ツアー	富田めぐみ(赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会代表理事)	11月4日(水)	保育園児
13	花水台保育園鑑賞ツアー	富田めぐみ(赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会会長)	11月6日(金)	保育園児

## 対話による美術鑑賞事業(ボランティア育成)

担当：勝山滋(当館学芸員)

美術館の新たな活動の柱として市内小学校を対象とした「対話による美術鑑賞」を事業化し、本事業を支援するボランティアを募集、育成します。今年度は1校(1クラス)の事業を実習し、ボランティア20名の育成をめざします。

なお「対話による美術鑑賞」は、グループで対話をしながら美術を鑑賞する手法をいい、1988年以降ニューヨーク近代美術館で開発された方法で、作品を見、自分の考えをクラスメートの前で言葉にすることで思考力やコミュニケーション能力を身に着ける鑑賞方法です。

## その他の事業

### (1) 事業

ミュージアムコンサート(ドイツ後期バロック 輝かしい3人の巨匠達)

日時 11月21日(土)14:00~

主催 平塚市美術館

出演 細岡ゆき他

内容 古楽器によるドイツ後期バロックの演奏。

場所 テーマホール

募集人数 150人

こども年賀状とおとな絵手紙展

日時 平成28年1月6日(水)~1月11日(月・祝)(予定)

主催 平塚市美術館

内容 美術館をより身近に感じてもらうための取り組みとして、こどもを対象とした年賀状と、新春をテーマにした絵手紙を募集する予定。また、運営をサポートするボランティアスタッフを募集する予定。

場所 市民アートギャラリーA室

日数 6日間

ミュージアムコンサート(タイトル未定)

日時 平成28年2月頃開催予定

主催 平塚市美術館

出演 詳細未定

内容 詳細未定

場所 テーマホール

募集人数 200人